

市民まちづくり活動等への支援に係る令和4年度予算について

資料1-1

単位：千円

中事業名	小事業名	R3年度 予算額	R4年度 予算額	増減	備考・増減理由
市民自治推進費	市民自治推進事業	26,387	27,856	1,469	
	住民組織助成金	223,000	224,000	1,000	
	まちづくりセンター地域自主運営化推進費	103,000	103,000	0	
	新たな活動の場創設支援費	11,000	8,000	▲ 3,000	R3申請件数減
	町内会活動総合支援費	31,000	33,000	2,000	
	次世代の活動の担い手育成費	2,800	3,400	600	事業拡大に伴い費用が増加するため。
	町内会支援策検討費	2,200	6,000	3,800	条例施行に向けたシンポジウム等の実施のため
	町内会デジタル活用促進費	-	24,000	24,000	R4単年度新規事業
未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進費	未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進費	350,000	369,000	19,000	
	地域マネジメント推進費	6,300	7,400	1,100	
	区役所まちづくり活動推進費	30,300	32,300	2,000	
市民活動推進費	市民活動サポート推進費	18,019	18,581	562	
	市民活動サポートセンター運営管理費	36,317	36,342	25	
	市民まちづくり活動促進費	91,000	91,000	0	
	(一般財源のみ)	10,422	10,422	0	
	地域まちづくり人材育成費	5,400	5,400	0	
	地域課題解決のためのネットワーク構築費	14,000	14,000	0	
	企業による市民活動促進費	6,000	6,700	700	査定により、PR業務等の委託費の増額が認められたため（計画事業費内）
(一般財源のみ)	5,300	6,000	700		
小計		956,723	1,009,979	53,256	
市民まちづくり活動促進基金造成費	市民まちづくり活動促進基金造成費	79,292	85,158	5,866	
新型コロナウイルス感染症対策支援基金造成費	新型コロナウイルス感染症対策支援基金造成費	200,000	550,000	350,000	寄附額増のため
合計		1,236,015	1,645,137	409,122	

まちづくり活動等に関する主な支援事業

※点線より上段が町内会への支援、下段がその他のまちづくり活動等への支援

町内会活動総合支援事業 予算額：33,000 千円

各種広告媒体の活用やイベント等でのPR、不動産関連団体等との連携による町内会への加入促進啓発、町内会運営に資する講座（町内会未来塾）や町内会アドバイザー派遣の実施など。

町内会支援策検討事業 予算額：6,000 千円

「(仮称)札幌市町内会に関する条例」及び支援策を市民に周知するためのシンポジウム開催及び広報啓発の実施。
(参考)ごみステーション管理器材等の購入助成の拡充 109,000 千円

新規事業

町内会デジタル活用促進事業 予算額：24,000 千円

町内会に対するデジタル関連機器購入やデジタル活用にあたっての環境整備に係る経費の一部補助、R3年度にモデル事業で制作した「電子回覧板導入マニュアル」の配付。

住民組織助成金 予算額：224,000 千円

町内会・自治会など住民組織に対する助成。

地域マネジメント推進事業 予算額：7,400 千円

将来の展望を踏まえた活動指針である「地域まちづくりビジョン」策定のためのワークショップ開催支援、地域分析調書「戦略的
地域カルテ・マップ」(H26年度製作)の改訂など。

新たな活動の場創設支援事業 予算額：8,000 千円

市民グループから、地域のまちづくり活動(ソフト事業)と活動の場の整備(ハード整備)を結びつけた企画提案を募集。

審査により、地域との協力体制づくりや運営計画づくりの支援、整備支援を実施。

次世代の活動の担い手育成事業 予算額：3,400 千円

小中学生、高校生、大学生、若者のまちづくり活動参加を促進。

未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業

予算額：369,000 千円

各地域の課題やニーズに基づく市民参加型のまちづくり活動に対して、各区が地域を支援。

区役所まちづくり活動推進事業 予算額：32,300 千円

アクションプラン2019で新たに計画化した、区の特徴を活かした先進的・意欲的なまちづくり活動を推進。

まちづくり活動等に関する主な支援事業

市民活動サポート推進事業 予算額：18,019 千円

NPO 法人の認証・認定・指定相談、審査、届出受理、指導監督及び縦覧・閲覧等の事務を行うと共に、法人の基盤強化を目的としたセミナーを実施。

市民まちづくり活動団体を支援する施設として、市民活動プラザ星園を平成 23 年 8 月に設置し、団体に貸事務所、貸し会議室、交流スペースの提供等を実施。運営方法：普通財産の貸付

市民まちづくり活動促進事業 予算額：91,000 千円 (うち助成金：80,578 千円)

市民や企業からの寄付を募り、市民まちづくり活動団体が行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支える制度である、さぽーとほっと基金を運用。

さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぽ」を運用し、市民まちづくり活動への参加促進を行うと共に、クリック募金の公開等により寄付文化の醸成を図る。

企業による市民活動促進事業 予算額：6,700 千円

企業のまちづくり活動を促進するため、地域に根差した活動に取り組む企業の認定制度の実施や包括連携協定による協力体制の構築。

市民活動サポートセンター運営管理

予算額：36,342 千円

市民まちづくり活動団体による様々な市民活動を、総合的に支援するための拠点施設として、平成 15 年度に設置。まちづくり活動に関する情報提供や相談対応、交流サロンや基盤強化の講座等の開催、事務ブースの提供など。運営方法：指定管理者制度

地域まちづくり人材育成事業 予算額：5,400 千円

気軽に活動体験できる機会の提供を目的とした、まちづくり活動体験プログラムの実施。市民まちづくり活動団体が抱える課題を解決できるスキルを持った人材を育成するためのセミナーや体験派遣の実施。

地域課題解決のためのネットワーク構築事業

予算額：14,000 千円

まちづくりのスキル・ノウハウを有する NPO と町内会等が地域課題を解決するため、協働して実施する事業に対して財政的支援を実施。また、NPO の活動を紹介し、町内会等へ派遣することで連携を促す。

活用が低調な冠基金の活用方法について

資料2-1

【現状】 助成申請が低調な冠基金があり、寄付が活用されず冠基金の名前が残り続ける事例あり

【原因】

冠基金設置者の設定した助成条件が限定的で、市民活動団体にとって助成申請しにくい

【解決策（案）】

今後、新規に設置される冠基金

- ・冠基金の用途として指定できる範囲は分野までに制限
→細かく指定できると用途が制限され助成申請が低調となるため、分野までとする。
- ・廃止の条件中、残額を10万円未満から25万円未満に変更
→過去5年間の冠基金への助成申請額の統計を取ったところ、25万円以上が過半数(53%)であったため。

既存の冠基金

- ・冠基金の設置条件変更について、設置者へ個別に説明し同意を得ていく。

テーマ「東日本大震災被災者支援」及び 「北海道胆振東部地震被災者支援」の今後について

【現状】 現在も寄付募集を継続中だが、震災から年月が経過しているため、事業助成申請が大幅に減少している

【原因】

年月の経過による記憶の風化が起きている。被災者支援に対するニーズの低下など

【解決策（案）】

- ・両テーマについて、令和4年3月末で寄付募集を終了する。
- ・過去、応募実績のある団体に対し、基金の活用を周知、促進していく。

令和3年度NPOの情報発信力強化支援事業について

1 情報発信力向上セミナーについて

(1) 開催概要

第1回 3月4日(金)15:00～ 情報発信の概要

第2回 3月4日(金)16:15～ 発信初心者向け

第3回 3月9日(水)16:00～ 発信経験者向け

※別添のチラシ、札幌市・事業者HP、北海道新聞別刷「さっぽろ10区」等で広報

(2) 応募状況

第1回 25名

第2回 32名

第3回 34名

2 WEBページ等作成に係る情報整理アドバイザー派遣及び補助金について

(1) 対象団体

札幌市で活動するNPO法人、さぼーとほっと基金登録団体

(2) 応募状況

期 間 令和3年12月22日(水)～令和4年1月17日(月)

※対象団体へ、別添のチラシを郵送またはメールにて周知

応募数 25団体 ※HP等を持たない団体を優先し、抽選で10団体に派遣決定

(3) 派遣状況(2月28日時点)

派遣中 2団体

派遣終了 8団体

(4) WEBページ等作成補助金について

申請予定 5団体(すべて派遣終了)

使わない 5団体

3 パンフレットについて

(1) 概要

タイトル「NPOのチカラこぶ」 各号5万部作製

第1号：子ども関連事業に取り組むNPO(10団体)を掲載

第2号：高齢者関連事業に取り組むNPO(10団体)を掲載

※別添のパンフレットは、データをカラープリンタで印刷した見本

(2) 配布先

区役所、区民センター、地区センター、まちづくりセンター、社会福祉協議会、郵便局、認可保育園、児童会館、若者支援センター、地域包括支援センター、介護予防センターなど ※3月末～4月にかけて配布

NPOのための 情報 発信力向上 セミナー

オンライン開催

コロナ禍によりNPOの活動が大きく制限されている
 昨今、自らの活動の情報発信をする重要性が増して
 きています。札幌市では情報発信に関心のあるNPO
 関係者のためにWEBやSNSを中心に「情報発信の本
 質や意義」から「具体的な発信の実践方法」までを学
 べるオンラインセミナーを企画しました。みなさまの活
 動をより広めていくために是非ご受講ください。

- 対象** NPO活動を行っている方、
これから始めようとする方(以下、NPO関係者)
- 主催** 札幌市市民文化局市民自治推進室
市民活動促進担当課

参加
無料

各回ごとにお申込みできます！

第1回 3/4(金) 15:00~16:00 (質疑応答含む)



イントロダクション すべてのNPO関係者

情報発信の本質 「ユーザーとの信頼関係」について知ろう

情報発信をするとはどのようなことなのか、情報発信の本質から相手に合わせた効果的な情報整理の仕方まで、新聞社でマス広告やWEB・SNS発信業務に携わりながら、NPO活動の経験も活かした手法をお伝えします。

講師:堤 智久
北海道新聞社営業局
デジタル・業務推進
グループ担当部長

ワーク
ショップ
開催

本セミナーはオンライン
 会議システムZoom※に
 より実施しますので、
**Zoomに接続
 できる環境から
 オンライン視聴
 が必要です。**

※「Zoom」は、Zoom Video
 Communications, Inc.の商標です。

第2回 3/4(金) 16:15~17:15 (質疑応答含む)



発信初心者向け はじめて情報発信をはじめようとするNPO関係者、SNSの
書き込み程度から本格的に情報発信をはじめたいNPO関係者

目標設定から実際の配信まで 情報発信「はじめの一步」

情報発信はそれぞれのNPOの目的に合わせた効果的な方法を検討する必要があります。NPO代表の立場から情報発信における目的、目標、効果的なツールを設定するワークショップを、自身の体験談を交えながら開催します。

講師:浜中 裕之
NPO法人
北海道エンブリッジ
代表理事

ワーク
ショップ
開催

定員

各回**50名** (応募多数の
場合は抽選)

応募期間

2/4(金)~22(火)

※参加当選者には2/25(金)までにE-mailにてご連絡
 します。

応募方法

下記URL、または右
 記二次元コードにア
 クセスし「参加応募」
 ページに進み申し
 込みください。



<https://npo-online-seminar.org>

※ご応募いただいた個人情報はセミナーの案内、関連
 資料の送付など本事業にかかわる連絡業務、札幌市
 への事業報告書作成業務の目的に使用し、受託者に
 て適正に管理いたします。

第3回 3/9(水) 16:00~17:00 (質疑応答含む)



発信経験者向け すでにWEBやSNSで情報発信をはじめていて、
よりレベルアップを目指したいNPO関係者

効果的・継続的な情報発信のための 分析データ活用法を学ぼう

すでに情報発信をはじめている方にとって「改善」と「継続」は多くの方が悩まれる課題です。WEB会社でのプランナー経験と、自らのNPO運営経験の目線から課題整理、効果測定における「どんなデータ」の「どこを見たら」という具体的なポイントをお伝えします。

講師:山田 瑞希
NPO法人
花サイクルクラブ理事

お問い合わせ

NPO情報発信力
 向上セミナー事務局
 (受託先:北海道新聞社営業局)

☎011-210-5905 [平日 10:00~17:00]
 (担当/佐藤)

✉ nposapporo@hokkaido-np.co.jp



さっぽろ市
 02-D02-21-2250
 R3-2-1421

令和3年度WEBページ等作成に係る 情報整理アドバイザー派遣事業のご案内

情報発信で
お困りではありませんか？

ホームページはあるけれど、
見てほしい人に
届いているだろうか・・・

SNSで発信したいけれど、
何から始めたらよいか
わからない・・・

アドバイザーがホームページ
やSNSの活用方法について、
無料でアドバイスします。

団体の情報発信についてお悩みはありませんか？

「ホームページを作成したが、うまく活用できていない」、
「SNSを活用して情報を届けたいが、どうすればいいのかわからない」

札幌市では、市民活動を行う団体の情報発信について、
ホームページの作成に関する情報整理や、SNS等の活用など
プロのアドバイザーが、無料でアドバイスを行う事業を実施します。

～応募方法～

【対象】

- ▶札幌市で活動する特定非営利活動法人
 - ▶さぼーとほっと基金登録団体 のいずれか
- ※派遣は10団体まで。

応募多数の場合は抽選で決定します。(ホームページ等を持たない団体優先)

【応募方法】 次のいずれかの方法でご応募ください。

- ▶①WEB フォーム https://ezokitchen.co.jp/adviser_dispatch/
- ▶②メール adviser@ezokitchen.co.jp
- ▶③電話 011-231-2222 (平日 10時～16時)
※12月28日～1月4日は休み



【締切】 令和4年1月17日(月) 16時まで

【内容】

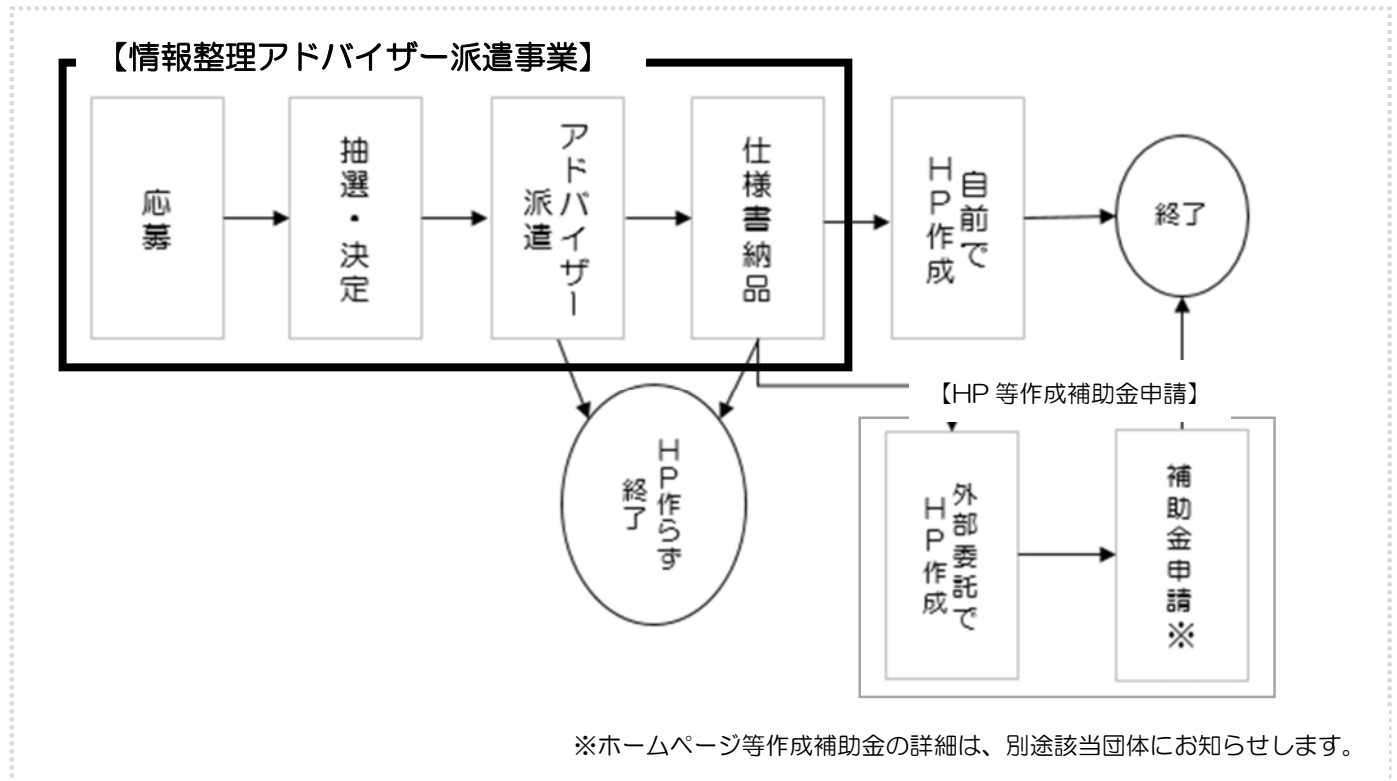
団体に対してアドバイザーを派遣し、ホームページの作成に関する基本的な情報整理やSNS等の活用などについて、無料でアドバイスをします。アドバイス後は、必要に応じて外部委託するための仕様書及び見積書を作成し納品します。

- ▶費用：アドバイザー派遣に係る費用は無料。
- ▶期間：令和4年1月下旬～令和4年3月15日 アドバイスは計10時間程度
- ▶当事業は、札幌市からの委託により、株式会社えぞキッチンが実施します。

※事業の詳細は、別紙の応募要項をご覧ください。



～応募後の大まかな流れ～



～Q&A～

Q：アドバイスをもらうのに費用はかかるの？

A：費用は無料です。

Q：アドバイスを受けたら、絶対にホームページを作る必要があるの？

A：必須ではありません。

団体の事情に応じてホームページが不要というアドバイスとなることもあります。

Q：ホームページを作りたいので、アドバイスはいらないけど補助金申請したい。

A：アドバイザー派遣を受け、ホームページの作成・改修が必要というアドバイスを受けた団体が補助金の対象となります。

Q：作成・改修したホームページ、SNSの管理や運営にかかる費用は誰が負担するの？

A：補助金の対象は、作成・改修に係る外部委託費用のみとなります。

自ら作成・改修した場合の費用や、運営管理費は各団体の負担となります。

【お問合せ・お申込み先】

令和3年度WEBページ等作成に係る情報整理アドバイザー派遣事業 受託者
株式会社えぞキッチン（担当：神田[かんだ]）

電話：011-231-2222（平日10:00～16:00）

メール：adviser@ezokitchen.co.jp

【事業担当】 札幌市 市民文化局 市民自治推進室 市民活動促進担当課

電話：011-211-2964 メール：shimin-support@city.sapporo.jp

あなたに知ってほしい！

NPO

の

チカラこぶ

第1号 子どもたちの元気と未来を育む NPO 特集

わかると
なるほど！
NPO



NPO って聞いたことはあるけど・・・

実は私たちの住む札幌にも、社会のため、市民のみなさんのために、
様々な活動を行っている NPO がたくさんあります。

NPO は普段どんな活動をしているか、
今まで知らなかった新たな発見があるかもしれません。
あなたと NPO の出会いのきっかけに。

札幌市

SAPP_RO

NPOのチカラこぶ

NPO とは

「NPO (Non Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。

NPO は、様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。

本パンフレットでは、子どもたちに関連する10の団体をご紹介します。どんな NPO があって、どんな活動をしているか、どんな特長【チカラこぶ】があるのか。社会貢献のために活動する NPO のことを知り、まちづくりや支援の輪を大きくみんなで広げていきましょう。

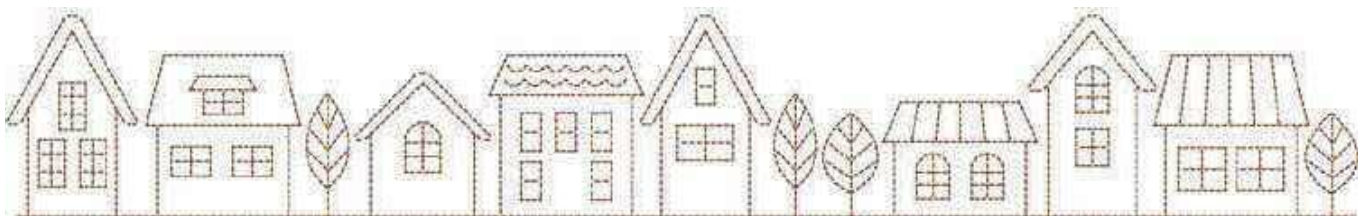
わたしたちと NPO

活用する

支援する

参加する

市民と NPO との関わり方は、その活動内容に合わせて活用する、その活動を寄付などで支援する、その団体の活動にスタッフまたはボランティアで参加する、などがあります。



CONTENTS

特定非営利活動法人 E-LINK / 特定非営利活動法人 子育て応援かざぐるま	2P
特定非営利活動法人 こども共育サポートセンター / 特定非営利活動法人 子どもの未来・にじ色プレイス	3P
特定非営利活動法人 子どもシェルターレラピリカ / さっぽろ冒険遊びの会	4P
特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ / 特定非営利活動法人 ハタモク北海道	5P
特定非営利活動法人 はる / 勇者の会	6P

※新型コロナウイルスの感染拡大等で活動内容が変更となる場合がありますので、ご注意ください。

※五十音順



子ども達が初めて触れる価値観に
出会えた寺子屋プロジェクト!

活動
内容



子どもを地域に世界に、多世代にツナゲル

子どもの頃に大人と遊んだ思い出、教職課程の学生時代に世界の文化や人々に出会った旅。次の世代を担う子ども達にも、様々な世界や世代に触れ、将来の選択肢や夢につなげてもらいたいと、海外からの多様な旅行者で賑わう、札幌市中央区のゲストハウスの一室で学童保育「アドベンチャークラブ札幌」、フリースクール「LIKEPLUS」を開始。

現在の創成東エリアに移転後は、地域の飲食店、事業者や寺院とのつながりを構築。また親子のプレーパーク、気軽に本が借りられるまちなかライブラリーなど、「ツナガル」をキーワードに事業を展開しています。

チカラこぶ ポイント

近隣のお寺で 寺子屋プロジェクト

近隣の北海寺の賛同を得て始めた、寺子屋プロジェクト。毎週木曜日、小学4年生以上の子ども達が集まり、地域の様々な世代、業種、価値観の人と遊び、話をして交流を深めています。



子ども達と地域とのつながりを広げています

壁一面にここで子ども達と
つながった大人達の笑顔が



理事長
日向 洋喜さん



動画でも
メッセージ配信中



活動
内容

子どもの育ちを真ん中にみんなで育ち合う。

1986年に女性の社会進出を支える目的で設立し、2005年にNPO法人化。2009年に親子の孤立を防ぎたいと中央区円山の麓に「子育て拠点 てんてん」を開設。

親と一緒に子育てする仲間と、子どもと一緒に育ち合う友だちと出会う子育てひろばを週5回開催。地域の親子の子育ての拠り所として、利用者には「第二の実家」と称されています。

てんてんでは円山原生林の自然を活用した2歳児の森のようちえんの活動や預かり保育も行っています。

チカラこぶ ポイント

動画へのQRコード付き 「子育て応援ブック」

日々悩みながら子育てに奮闘している親たち、それを支える子育て支援者や保育者たちに向けて、小児科医師や発達心理学者の協力のもと、子どもの心身の発達とかかわり方についてまとめました。応援ブックをテキストとして支援者向けの解説&活用法研修も開催しています。

詳しくはHPでご確認を。<http://kazaguruma.boo.jp/>



札幌市中央区南3条西28丁目1-20 第3睦マンション1F
☎ 011-676-3387



動画でも
メッセージ配信中

代表理事 山田 智子さん

特定非営利
活動法人

こども共育サポートセンター



ホームページは
こちらから



活動
内容

子どもたちがイキイキと成長する場づくり。

疑似体験を通して子どもが自ら考え、行動する学びの場、体験活動を提供しています。

各活動に「テーマ」を掲げ、自然体験のみならず、工作体験、奉仕活動、就労体験など多様なプログラムを展開。

子どもとボランティアスタッフが、ともに知恵と熱意を出し合うことで、子どもの自主性、社会性を伸ばし、人とつながり協働することのできる力(社会で生きる力)を育てます。また、ボランティアスタッフである若者、大人も共に育つ「共育」の環境を広めています。

チカラこぶポイント

自ら切り拓く力を養う 「もしとき教室」

ちょっぴり不便なアウトドア体験。災害時や普段の生活で起きるちょっとしたピンチの解決法がいっぱいです。災害時に限らず一人でも多くの子もたちが、自らの人生を自ら切り拓く力を養うことを目指す体験教室です。



プログラムの詳細、参加申し込みは
ホームページをご覧ください。



もしとき教室



代表理事
長江 孝さん

特定非営利
活動法人

子どもの未来・ にじ色プレイス

札幌市豊平区月寒東3条7丁目4-8
☎ 090-9439-3748



ホームページは
こちらから



多世代とともに囲む「子ども食堂」

活動
内容

未来のための夢と希望をもてる居場所。

2015年、札幌で初めての子ども食堂をオープン。2度の移転を経て、現在は自宅の一角を改装し、第2・第4火曜日に夕食を提供。困難を抱えた子どもや家庭だけではなく、地域みんなが集まり、子どもと大人が楽しく食卓を共有できる地域コミュニティの場として、間口を広く開いています。

オープン当初から今でも通い続けられる子どもも。中高生の居場所「にじ色スクール」、誰もがふらっと立ち寄り、全く自由なひとときを過ごせる「フリースペース」も実施しています。

チカラこぶポイント

SOSを見逃さない関係を構築

密な時間を過ごすことで、食堂だけでは解らなかった、子どもや家庭が抱える問題も見えてきます。SOSのサインを見逃さないよう、食堂以外の事業にも専門のスタッフを置いています。また、社会的な支援が薄くなる社会的養護を終えた子ども達とも、おすそ分け(フードバンク)等で関係を保ち、サポートを行っています。



にじ色スクールでは、みんなで
勉強も遊びも楽しめます。

地域コミュニティとして
どなたでもお気軽に
参加できます。



代表理事
安田 香織さん



動画でも
メッセージ配信中



活動
内容

レラピリカのひとつコマ。同世代と変わらない日常です。

翼が折れた子どものために。

「子どもシェルター」というのは、さまざまな事情で「今晚帰ってご飯を食べ、眠る場所がない」という14、5歳から20歳未満の子どものための緊急避難所です。

レラピリカは女子専用のシェルターで、利用料は一切かかりません。専門スタッフが常駐し、きれいな個室と温かい食事が用意され、本人の気持ちやニーズを聞き取り、一緒に生きる道を考えます。

江戸時代、子育ては「社会共同的な営み」と考えられていました。乳幼児の死亡率が極めて高く、「七つ前は神のうち」といわれていた当時は「子どもは社会が育てる」が、社会(共同体)としての生存戦略だったのです。

子どもシェルターの活動は、社会的子育ての一環であり、社会の崩壊をくい止めるための小さな「未来への投資」です。子どもを教え導くのではなく、子どもの声に耳を傾け、子どもから学ばせていただく。そして、少しでもあなたたちの「お役に立ちたい」…。

(理事長 内田記)

チカラこぶ ポイント

子どもの力と可能性は無限大です。

シェルターは「とまり木」、羽を休める場です。
6年間で138人の子どもたちが利用してくれました。
子どもたちの多くが、親との関係で苦しんでいましたが、2～3ヶ月のシェルター生活で、安心と自信、心の自由を回復して、自分の力で大空へ飛び立って行きました。

一人で悩まずお電話を 011-272-3125
平日 9:15～17:15

さっぽろ冒険遊びの会

開催カレンダーは
ホームページで



ホームページは
こちらから



活動
内容

円山公園の緑の中で、みんなで楽しく遊びます！

親子の声を聞き、寄り添い、輪を広げて。

子どもの発達に欠かせない、自然の中での自由な外遊び場、プレーパーク(冒険遊び場)を開催しています。

2010年に西区で初めて行い、もっと多くの親子が参加できるよう、場所を円山公園に移し活動を続けています。

四季を問わず月に数回、午前10時から午後1時までの開催が基本です。事前の申込みなどは不要で、いつきても帰っても自由。プレーリーダーや世話人が、子どもたちの様子を見守り、声をかけ、時には一緒になって遊びます。

チカラこぶ ポイント

子どもの自由な遊び場が お母さんたちの居場所に。

会場の円山公園近辺には、転勤で引っ越して来られた方が多く、冬の遊びが初めての方も。そうした中、子育てを頑張っているお母さん同士が顔見知りになり、情報交換をしたり、ひとときほっと一息をつく。そんな親子を支える場となっています。



冬でも外遊び!雪は最高の遊び道具です。



動画でも
メッセージ配信中

世話人 岡村 恵子さん



誰でも安心して過ごせる居場所です。

活動
内容



チカラこぶ ポイント

誰にも言えない悩みや 生きづらさを抱えていませんか

何か困っていませんか？どのような手立てがあるのか、誰に助けを求めたらいいのか、迷っていませんか？ねっこぼっこのいえは「支援相談」にも力を入れてきました。育児、学校、仕事、お金のこと。必要な窓口に繋がるお手伝いをしています。

互いを認め信頼し、希望をもつために。

もっと子育て家庭が抱える悩みに寄り添いたいと、幼稚園、前代表を中心とした保護者、幼稚園の母体である教会の三者が協力して設立。2012年にはその協力体制から独立し、2018年にNPO法人化しました。独立当初から、多世代、多様な人々が集うことができ、子どもの育ちを多方面から考え見守ることのできる居場所として「ひろば」を運営しています。様々な事情で学習環境が十分でない子どもたちのためには、認定NPO法人Kacotamと共催で学習支援の「学さぼ」も実施しています。



ここでは、みんなで楽しめます。



動画でも
メッセージ配信中



令和3年度
ほっかいどう未来輝く子育て大賞を
受賞しました。

[中]代表理事 太田 千代さん



活動
内容



ざっくばらんに、真剣に意見を交わすことで見えてくるものがあります。

チカラこぶ ポイント

自分らしく働き、 生きるために。

年齢や立場を超えた、いろいろな価値観に出会える場がハタモクです。学校や普段の生活の中で就職の話はしても、働く意味や目的までを考えたり、語る機会はないのではないのでしょうか。働くことについての自分の思いや、不安、モヤモヤなどを聞かせてください。

気楽に真剣に。働く意味を考える。

「社会に出る前に、働くことの意味や目的(=ハタモク)を考えることを常識に」これがハタモク北海道の目指す姿です。

ハタモクは「何のために働くか」を学生(大学生・高校生)と社会人の小グループで、ざっくばらんに、真剣に語りあう場。話す内容に「正解」はありません。年齢や立場を超えて意見を交わす経験は、学生にとってはもちろん、社会人にとっても有意義と考えます。言葉に出してみることで自分自身の考えに気づくこともあるでしょうし、社会人の経験談からは働くことのイメージがより具体的になってくるでしょう。



例会を終えて参加者全員で記念撮影
達成感が表情にあらわれます。



動画でも
メッセージ配信中

代表理事
中田 隆太さん



はるのスタッフ

**活動
内容**

子どもひとりひとりをしっかり受け止める。

大手学習塾で講師を務めていた頃、勉強には熱心なものの、何だか苦しそうで、活き活きとしていない子どもたちの姿を見て、もっとひとりひとりに寄り添いたいと独立を決心、自分の学習塾を開塾。

徐々に、発達障害や、不登校の子ども割合が増え、フリースクールの性格も合わせ持つようになりました。2017年に放課後等デイサービスを開始。子どもの家庭だけでなく、学校や福祉機関、行政や地域社会との連携を図りつつ、フリースクール、放課後デイサービス、学習塾など子どもたちにとって多様な受け皿をつくることで、ひとりひとりにあった学びや活動の場、居場所を提供しています。



勉強の合間に子ども同士やスタッフと自由遊びやコミュニケーション



動画でも
メッセージ配信中

理事長
河西 良介さん



チカラこぶ ポイント

子どもたちの 安心と信頼を前提に

子どもたちの学ぶ力、前に進む意欲を引き出すしていくためには、この場が子どもにとって「安心できる居場所」であることと、私たち大人が信頼できる存在になることが何よりも重要と考えています。ひとりひとりをしっかり受け止め、関係性を深めています。

勇者の会



Facebookは
こちらから

毎月Zoomを利用した講演会を実施
メールでお問い合わせを yusyanokai464923@gmail.com



花火大会など、
レクリエーションや
家族の交流会を
大切にしています。

**活動
内容**

小児がんの子どもと家族のサポートを。

長男が白血病を発症し約一年以上入院。その後抗がん剤治療、免疫抑制療法を続ける中、同じ立場の子どもや親への支援の必要性を強く感じて会を設立。日常の学習支援のほか、レクリエーションや家族の交流会など、幼児から大学入学までの小児がんの子どもと、その家族のサポートを行っています。

そして今、自宅から遠く離れて療養する子どもと家族が、ひととき一緒に過ごすことのできるファミリーハウスを実現するための活動を行っています。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

学習サポートやデジタル技術で
様々な体験を楽しんでもらう試みも。



プロジェクション
マッピングで
海を体験!



学習支援



動画でも
メッセージ配信中

[左] 学生ボランティア 田坂 遼さん
[右] 代表 阿部 美幸さん



チカラこぶ ポイント

それぞれの立場で、広がる支援の輪

5年目を迎えた今、活動を生きがいとしてくださる元教師の方、ボランティア活動として体験を重ね、自分の知恵や能力を発揮していく学生、社会貢献の場として活用して下さる企業・団体など、支援を受ける側、提供していただく側、双方に利が生まれ、広がっています。

子育てなど、子どもに関する札幌市の支援制度をご案内します。

札幌市には子育てなど子どもに関する様々な支援・サポート制度があります。その一部をご案内します。

●こそだてインフォメーション【各区子育て支援（担当）係】

保育士が常駐し、子育て相談、子育て講座・お出かけスポットや一時預かりサービスなどの情報提供、絵本の貸し出しなどを行っています。キッズスペースもあり、ゆったりご利用いただけます。この他、ファミリー・サポート・センター事業や病後児デイサービスの事業内容の説明や、その場で事前登録ができる説明会も実施しています。



■相談方法：電話・面談

■相談時間：月～金 8時45分～17時15分（祝・休日・年末年始12月29日～1月3日を除く）

中央区	北区	東区	白石区	厚別区
大通西2丁目 中央区役所仮庁舎5階 ☎232-0874（相談専用）	北25条西6丁目 北保健センター1階 ☎756-0874（相談専用）	北10条東7丁目 東保健センター1階 ☎712-0874（相談専用）	南郷通1丁目南 白石区複合庁舎3階 ☎861-0874（相談専用）	厚別中央1条5丁目 厚別保健センター3階 ☎894-0874（相談専用）
豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
平岸6条10丁目 豊平区役所3階 ☎812-0874（相談専用）	平岡1条1丁目 清田区役所2階 ☎885-0874（相談専用）	真駒内幸町1丁目 南保健センター1階 ☎584-0874（相談専用）	琴似2条7丁目 西保健センター1階 ☎643-0874（相談専用）	前田1条11丁目 手稲区民センター1階 ☎691-0874（相談専用）

●区役所家庭児童相談室

札幌市の各区保健センター等では、18歳未満の子どもに関するさまざまな相談をお受けしています。来所による相談のほか、お電話でのご相談にも応じています。お気軽にご利用ください。

次のようにご相談に
応じています。

- いじめ、対人関係、不登校などの教育相談
- 窃盗、飲酒、家庭内暴力などの非行相談
- 親子、家族関係に関する相談
- 子どもの心身の発達に関する相談
- その他、子どもに関する相談

■相談時間：月～金 8時45分～17時15分（土・日曜・祝・年末年始12月29日～1月3日を除く）

中央区	北区	東区	白石区	厚別区
大通西2丁目 中央区役所仮庁舎5階 ☎205-3353	北25条西6丁目 北保健センター ☎757-1182	北10条東7丁目 東保健センター ☎711-3212	南郷通1丁目南 白石区複合庁舎 ☎862-1881	厚別中央1条5丁目 厚別保健センター ☎895-2497
豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
平岸6条10丁目 豊平区役所 ☎822-2423	平岡1条1丁目 清田保健センター ☎889-2049	真駒内幸町1丁目 南保健センター ☎581-5211	琴似2条7丁目 西保健センター ☎621-4241	前田1条11丁目 手稲保健センター ☎688-8596



さっぽろ子育て情報サイト

「さっぽろ子育て情報サイト」は、妊娠期から就学前の子育て情報をまとめたサイトです。イベントや子育てサロンの情報から相談窓口のご案内など、様々な情報があります。



さっぽろ子育てアプリ

「さっぽろ子育てアプリ」は、さっぽろこそだて情報サイトの情報を見ることに加え、プッシュ通知機能、予防接種スケジュール管理、子育て日記機能など、子育て情報の管理を、より便利で手軽に行うことができます。

どこに相談したらよいか迷った場合は、札幌市コールセンターへ。札幌市の制度や手続き等を案内しています。

札幌市コールセンター ☎011-222-4894 年中無休 8時～21時

発行：札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課 ☎011-211-2964



さっぽろ市
02-D02-21-2328
R3-2-1468

あなたに知ってほしい！

NPO

の

チカラこぶ

第2号 支え合って元気に！高齢者向け NPO 特集

わかると
なるほど！
NPO



NPO って聞いたことはあるけど・・・

実は私たちの住む札幌にも、社会のため、市民のみなさんのために、
様々な活動を行っている NPO がたくさんあります。

NPO は普段どんな活動をしているか、
今まで知らなかった新たな発見があるかもしれません。
あなたと NPO の出会いのきっかけに。

札幌市

SAPP_RO

NPOのチカラこぶ

NPO とは

「NPO (Non Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。

NPOは、様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。

本パンフレットでは、高齢者のみなさんに関連する10の団体をご紹介します。どんなNPOがあって、どんな活動をしているか、どんな特長【チカラこぶ】があるのか。社会貢献のために活動するNPOのことを知り、まちづくりや支援の輪を大きくみんなで広げていきましょう。

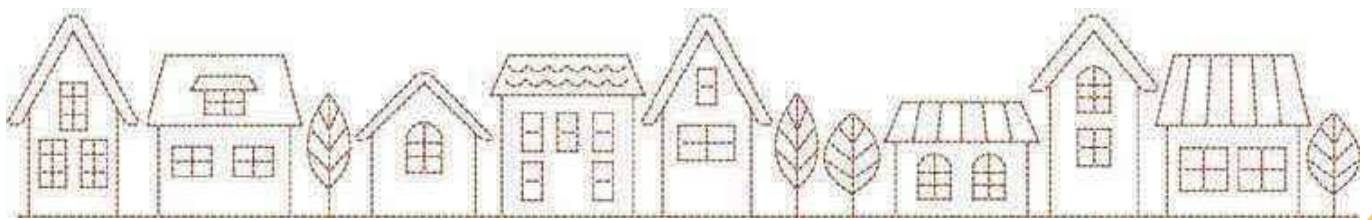
わたしたちとNPO

活用する

支援する

参加する

市民とNPOとの関わり方は、その活動内容に合わせて活用する、その活動を寄付などで支援する、その団体の活動にスタッフまたはボランティアで参加する、などがあります。



CONTENTS

NPO法人 グッドドライバー・レッスン / 特定非営利活動法人 ぐるーぽ・ぴの	2P
特定非営利活動法人 札幌微助人倶楽部 / 特定非営利活動法人 さっぽろ福祉支援ネットあいなび	3P
特定非営利活動法人 シーズネット / 特定非営利活動法人 葬送を考える市民の会	4P
日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう / 北海道カーリンコン協会	5P
特定非営利活動法人 ふまねっと / みんなのお茶の間くるくる	6P



ご自身のマイカーを持ち込んでの
体験型レッスン。

活動
内容



安全な運転はとても楽しい。

私たちがモータースポーツで培った知識や技術を、一般の方の『安全・楽しく・快適』なカーライフに役立て、不幸な事故を未然に防ぎ、社会に「グッド・ドライバー」を数多く増やすことが目的です。

自治体や地域団体と連携し、体験型レッスンを行っています。基本に戻った運転操作の確認や、運転に必要な身体機能と認知機能を高めるオリジナルのストレッチ運動、最新「サポートカー」の実車体験などがプログラムです。

また、一人ひとりの身体機能をスコア化する「お体の点検」も実施しています。

チカラこぶポイント

ご高齢の方が 運転をあきらめる前に。

ご高齢の方は車と家族のように人生を送られてきました。その気持ちに寄り添い「ご高齢の方が安心して運転できる」「地域社会が安心できる」お手伝いをしています。そしてグッド・ドライバーのまま卒業していただくことが私たちの役目であると考えています。どうぞご相談ください。

運転前におすすめのストレッチ運動



サポートカーの実車体験



動画でも
メッセージ配信中

副理事長
藪中 建二さん



活動
内容



「住民連携文化交流サロンえいと」で定期的に開かれる
講師や語り手を招いての「おしゃべりサロン」

孤立化が進む高齢者同士の交流のために。

代表の旧宅を改造し「西野厨房だんらん」を2004年に開設。子どもが独立した高齢者を対象に「毎日食べても飽きない家庭のご飯」をコンセプトとした食事を、近所のボランティアと一緒に提供していました。（2022年1月現在、新型コロナウイルス感染防止対策のため休止中。）

毎月第2・第4土曜日に、地域の子ども達を地域で見守り、育てようと、子ども食堂を開催。また、中央地区第8町内会と連携し、中央区のマンション内に「住民連携文化交流サロンえいと」を開設。都心部に住む高齢者の交流「顔合わせ」の拠点と居場所を提供しています。

チカラこぶポイント

継続が力となり、つながりが広がる。

「住民連携文化交流サロンえいと」の交流の中で、マンションの住民同士が顔見知りとなったり、参加者が力を提供する側にも回りたいと「お手伝いサロン」が生まれ、買い物の手伝いや電球の交換など、高齢者の活躍の場も生まれています。

みなさんも、参加してみませんか。



札幌の移り変わりを見てきた
高齢者の記憶を貴重な財産として
まとめた冊子も発行。



動画でも
メッセージ配信中

代表
堀川 淳子さん



特定非営利
活動法人

札幌微助人倶楽部



ホームページは
こちらから



福祉車両を使った移送サービスも行っています。

活動
内容

困ったことは会員同士で助け合おう。

これからは高齢者同士が助け合う時代となる。

1996年に会社経営者や団体役員が中心となり、社会への恩返しをしよう
と会を設立。1999年にはNPO法人の認証を受け、時代のニーズにも合い、四
半世紀にわたる活動を続けています。

要介護認定を受けた方、障がい者の移送サービスをはじめ、家事・育児のサポ
ート、家族代わりに介護・介助、パソコン支援など、日常の困りごとを、会員同士で
微(ささやか)に助け合う、有償ボランティアです。

チカラこぶポイント

お互いに助け合しましょう 困った人こそ大歓迎です。

家族や身近な手助けが足りなくて困っている方、介護
保険のサービスでは十分ではなく困っている方、どう
ぞご一報ください。お互いに助け合しましょう。
ささやかな助け合いは、大きな安心につながります。
サービス提供、会員募集もしています。まずは、お電話
ください。

困りごとはお電話を

☎011-788-4444

平日 10:00~16:00

- 家事援助
- 外出の支援
- 介護・介助
- 除雪・庭仕事
- パソコンサポート



動画でも
メッセージ配信中



[右上]会長 児玉 芳明さんと
事務局の皆さん

特定非営利
活動法人

さっぽろ福祉支援ネット あいなび

札幌市南区南32条西10丁目2-3
☎ 011-582-8982



ホームページは
こちらから



「地域交流サロンふじのカフェ&多目的スペースあらいび」
での朝市は、たくさんの方で賑わいます。

活動
内容

優しさ(あい)を込めたご案内(なび)をモットーに。

支援を必要とする方々が、安心して、生きがいのある生活ができるよう、通院・
買い物・旅行・社会参加などへの外出を支援する「福祉移動支援活動」。そし
て、付添い介助・除雪・掃除などの日常生活を支援する「生活支援活動」を、有
償ボランティア活動として提供しています。

チカラこぶポイント

地域の人々がふれあい 交流できる拠点を提供しています。

有償ボランティアで得た資金を元手に、南区藤野で「地
域交流サロン、ふじのカフェ&多目的スペースあらいび」
を、法人事務所横に「地域交流サロンくるみな」を開設。
マルシェやサークル、子ども食堂などの地域交流支援活
動も行っています。

みなさんの参加をお待ちしています。

高齢者もそれぞれの地域でボランティアを

若い頃からボランティア活動続けてきた中、「地域共生の居場所」の必要性を強く感
じていました。そのためには資金が必要です。そこで救急隊員の経験を活かし、有償
ボランティアで資金を得ようと、札幌市消防局を早期退職。NPO法人を立ち上げ、
間もなく70歳になります。

昨年は道主催の「アクティブシニア活躍支援セミナー」の道内各地の場で、
私の経験談をお話しました。元気な高齢者が、地域の中で支援を
必要とする方をサポートすることで、自分自身もいつまでも
元気に暮らそうと訴えかけました。



動画でも
メッセージ配信中

理事長
下川原 清美さん



特定非営利
活動法人

シーズネット

問い合わせ・参加申し込み
札幌市北区北10条西4丁目1番地
☎ 011-717-6001



ホームページは
こちらから



活動
内容

大通公園西3丁目の花壇ボランティアは、
毎週木曜日、お花の手入れを実施。

高齢者の仲間、居場所、役割づくりを理念に。

高齢者が自立し、主体的な生き方を自ら創りだすための活動を行っています。高齢者の「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」を理念に掲げ、約30のサークル活動、常設サロン「サロンこのはな」運営、さらに各種社会貢献活動や、「互助」の立場での高齢者支援を行っています。

コロナ禍の中、オンラインによる活動も開始。新聞への連載も好評な認知機能低下予防「脳活塾」のほか、WEB版「うたごえ喫茶」を実施。多くの高齢者がチャレンジ精神を発揮、パソコンを使って参加しています。

チカラこぶ ポイント

会員の自主的な運営による 仲間づくりのサークル。

特技や趣味を生かし、会員自らが立ち上げたサークルが現在約30。興味のあるサークルに参加して、おしゃべりをしたり、話し相手や相談相手になったりして楽しみましょう。その活動の中で、人のつながりが生まれ、お互いを支え合う関係がつけられていきます。



「よっちゃんと歌おう」
WEB版「うたごえ喫茶」



「脳活塾」は出張も
WEBも人気です。



動画でも
メッセージ配信中

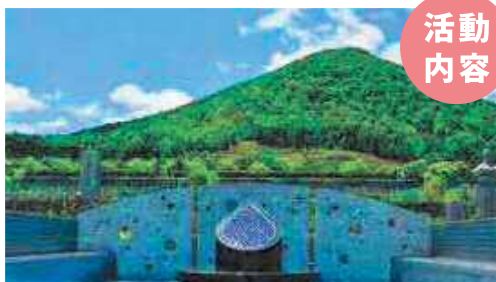
理事長 奥田 龍人さん

特定非営利
活動法人

葬送を考える市民の会



ホームページは
こちらから



活動
内容

旅立った会員の遺贈を受け建立しました。
2020年に完成した会の共同墓

自分らしく生きるために、旅立ちを考える。

身近な人の死に立ち会った数人の市民が、葬儀やお墓などの葬送に感じた素朴な疑問がきっかけ。葬儀社や僧侶を招き開いた勉強会が新聞記事となり、全道からの反響を受け、会として立ち上げました。

慣習や習俗にとらわれない、自分や家族の思いを大切にしたい旅立ちをめざします。最期まで自分らしく生きるための事業「はっぴいえんど事業」では、顧問の弁護士や税理士などの助言のもと、日常の安否確認や生活の支援・見守り、任意後見の引き受け、会員が亡くなったあとの葬儀や部屋の片付けなども行っています。

チカラこぶ ポイント

明るく死に備える おしゃべりサロン

会の当初から毎月1回開いている情報交換の場。家族や親しい人にもなかなか話せない「死」のこと、自分の思いや体験を、少人数でざっくばらんに語り合う、「生と死のNPO」らしい会です。

オリジナルの「旅立ちノート」

個人の生きた証の個人史、残された家族や親しい人たちへのメッセージとなる「旅立ちノート」。当会での販売のほか、ノート記入法の講座も開いています。



代表理事 澤 知里さん

札幌市中央区南2条西1丁目1-2 21きのしたビル 9階
☎ 011-261-6698

日常生活支援あつべつ・たすけ愛 ふくろう

札幌市厚別区厚別南2丁目10-4
ツルハドラッグ ひばりが丘店 2F
☎ 011-892-2960



活動
内容

庭仕事のお手伝いなど、みんなで助け合います。

慣れ親しんだ地域に住み続けるために。

2021年高齢化率が50%弱、独居世帯が千を超えた、厚別区青葉地区。この現状を20年前に予想、住民同士の助け合いが必要と、相互支援の仕組みづくりを目的に有償ボランティアを立ち上げました。

高齢、病気、子育てや妊娠・出産などの場での、日常のちょっとした「困りごと」を会員同士で助け合う活動をしています。

また、広い事務所を困りごと相談の窓口や、地域交流の場、集い処「わ・わ・わ あつべつ」として、火～金曜日の午前10時～午後1時の間、開放しています。

チカラこぶ ポイント

無理をせずに 最善の助け合い活動。

同じ地域に住み、様々なことを共有する住民同士だからこそ最善なお手伝いができる、サービスは区内に限定。他地区では組織づくりを支援しています。また、プロによる介護や一般の有償サービスとの役割分担をはっきりさせることで、無理のない活動となっています。どうぞお気軽にご相談ください。



青葉町で開いている地域食堂、手打ち蕎麦「和・輪・笑 あおば」ボランティアが打った本格的蕎麦は若い人たちにも人気。売上の一部はふくろうの活動費に充てています。



動画でも
メッセージ配信中

代表 澤出 桃姫子さん

北海道カーリンコン協会



ホームページは
こちらから



活動
内容

ポイント目掛けてディスクを投げます。
輪投げのイメージ!簡単です。

生涯楽しめる床上カーリング

表裏で色が違うディスクをポイント目掛けて投げ合う、カーリングにヒントを得た「カーリンコン」。このスポーツを楽しみながらの健康増進、仲間づくりと、より広い普及を目指しています。カーリンコンは室内の小さなスペース、軽量・コンパクトで安価な用具でプレーするのが特徴です。

全国大会も既に7回行われている、なかなか奥深いスポーツですが、福祉や医療の場、自治会や老人クラブなどのレクリエーションとしても。年齢を問わず、体の不自由な方でも気軽に楽しめます。

チカラこぶ ポイント

ドラマチックな展開が 驚きや笑い、拍手を誘います

ディスクが裏返り相手有利となったり、コート外に転がり出て戻ったり、時にはポイントが移動したり。一発逆転の展開も起こります。

道内各地で出前教室や講習、指導者の養成を行っていますので、地域のコミュニティーづくりにもカーリンコンを是非お役立てください。



シンプルながら、盛り上がる熱戦!

カーリンコンで
元氣と笑顔を!



動画でも
メッセージ配信中

札幌市札幌市東区北46条東3丁目1-26
☎ 090-5950-4758

会長 葛西 尚之さん



月2回開催の「スマイルふまねっとサロン」で
ふまねっと運動を楽しみみなさん。

活動
内容

無理なく楽しく「ふまねっと運動」！ 注意力・集中力・記憶力を向上。

マス目状の網を踏まないようにゆっくり歩く「ふまねっと運動」。多くのステップが用意され、慣れた方には歌や音楽、手拍子も合わせます。脳トレのできるバランス運動として全国の医療、福祉の現場に取り入れられています。また「間違えても気にしない」のがルール。一般の方、高齢者、障がいのある方が一緒に楽しめることから、住民主体の健康教室、レクリエーションとして、まちづくりの場でも活用されています。運動を安全、効果的に行うため、サポーター制度をとっており、6,000名以上が登録。参加者も35万を超えるまでに広がっています。

チカラこぶ ポイント

ケアよりチャンス。 高齢者の社会参加のきっかけに。

この運動の目的は、高齢者の認知機能や歩行機能を改善することだけではありません。参加して運動の楽しみを知った高齢者が、次はサポーターになり、指導者として健康づくりに貢献。地域の社会の中でそれぞれの生きがいを見つけ、高齢者自身が介護予防の担い手に。高齢者の社会参加のきっかけをつくっていきます。



全国の仲間とオンラインでも
「ふまねっと運動」を展開中！



動画でも
メッセージ配信中

どなたでも
気軽に参加できます！

運動を通じて
社会参加。
あなたも
楽しみながら
サポーターに
なりませんか。



[左] 理事長 北澤 一利さん
[右] 副理事長 尚和 里子さん

みんなのお茶の間 くるくる

札幌市白石区本郷通 8 丁目南 5-17

☎ 011-864-9148



毎週火曜日、午前10時から午後3時まで。
それぞれ楽しみながら自由な時間を過ごします。

活動
内容

気軽に立ち寄れるみんなの居場所

お茶の間が開く午前10時になると、近隣の女性たちが小さな鞆を持ってやってきます。鞆の中身は手芸道具や、折り紙など人それぞれ。

主宰者の土橋さんは地域で開かれたまちづくり講座に参加、そこで紹介された新潟の取り組み「うちの実家」に惹かれ現地を訪問。これならできると、2003年、自宅車庫を和風の居間に改造し、「みんなのお茶の間」として開放を始めました。

お茶、お菓子代として夏は100円、冬は150円を払った後、それぞれ、おしゃべりを楽しみながら自由な時間を過ごします。

チカラこぶ ポイント

支え合いの地域づくりの場

全員が対等に「ゆるやかに繋がる」ことで、居心地の良い雰囲気や信頼関係が生まれています。

また、ゆるやかに繋がることが、高齢者の見守りにつながっています。

それぞれの地域に「お茶の間」ができ、住民が支え合う場になって欲しいと願います。



手作り作品を福祉施設などに寄贈したりしています。
高齢者の社会参加につながっています。



動画でも
メッセージ配信中

主宰 土橋 紘子さん

高齢者の皆さんに関する札幌市の支援制度をご案内します。

札幌市には高齢者の皆さんに関する様々な支援・サポート制度があります。その一部をご案内します。

●ボランティア活動センター

ボランティア活動の普及啓発、人材養成のための講座・研修、相談、登録・需給調整を行うなど、ボランティア活動の拠点としての役割を担っています。

内容

- ボランティア登録・需給調整、相談
- ボランティア活動の拠点運営
- 広報誌などによる普及啓発
- 各種ボランティア講座の開催
- ボランティア体験
- ボランティア保険加入
- 福祉教育推進
- 障がい者講師等派遣
- 災害ボランティアセンターの設置・運営



中央区大通西 19 丁目 札幌市社会福祉総合センター ☎623-4000

●ふれあい・いきいきサロン

身近な住民同士の「仲間づくり」や「居場所づくり」を進める活動です。社会福祉協議会では、開設支援及び運営相談のほか、5年間を限度とした助成を行っています。

中央区社会福祉協議会

大通西 2 丁目9
中央区役所仮庁舎 5 階
☎281-6113

北区社会福祉協議会

北 24 条西 6 丁目
北区役所 1 階
☎757-2482

東区社会福祉協議会

北 11 条東 7 丁目
東区民センター 1 階
☎741-6440

白石区社会福祉協議会

南郷通 1 丁目南8
白石区複合庁舎 1 階
☎861-3700

厚別区社会福祉協議会

厚別中央 1 条 5 丁目
厚別区民センター 1 階
☎895-2483

豊平区社会福祉協議会

平岸 6 条 10 丁目
豊平区民センター 1 階
☎815-2940

清田区社会福祉協議会

平岡 1 条 1 丁目
清田区総合庁舎 3 階
☎889-2491

南区社会福祉協議会

真駒内幸町 2 丁目
南区役所 3 階
☎582-2415

西区社会福祉協議会

琴似 2 条 7 丁目
西区役所 1 階
☎641-6996

手稲区社会福祉協議会

前田 1 条 11 丁目
手稲区民センター 1 階
☎681-2644

●老人福祉センター

高齢者の方の健康増進、教養の向上およびレクリエーション等に利用していただくことを目的とした施設です。

●対象者：市内居住の 60 歳以上の方 ●料金：無料。但し浴室は利用 1 回につき 200 円

●利用時間：9 時～ 17 時（浴室 13 時～ 16 時）

中央老人福祉センター

大通西 19 丁目
☎614-1001

北老人福祉センター

北 39 条西 5 丁目
☎757-1000

東老人福祉センター

北 41 条東 14 丁目
☎741-1000

白石老人福祉センター

栄通 6 丁目
☎851-1551

厚別老人福祉センター

厚別中央 1 条 7 丁目
☎892-2211

豊平老人福祉センター

中の島 2 条 3 丁目
☎811-5201

清田老人福祉センター

清田 3 条 3 丁目
☎885-8500

南老人福祉センター

石山 78-68（石山緑地内）
☎591-3100

西老人福祉センター

二十四軒 4 条 3 丁目
☎641-4001

手稲老人福祉センター

曙 2 条 1 丁目
☎684-3131

●保養センター駒岡 南区真駒内 600-20 ☎583-8553

60 歳以上の方や障がいのある方などが低料金で利用できる保養施設です。日帰りはもちろん宿泊も利用できます。

●老人クラブ ●おとしより憩の家

詳しくは各区役所保健福祉課へ。

どこに相談したらいいか迷った場合は、札幌市コールセンターへ。札幌市の制度や手続き等を案内しています。

札幌市コールセンター ☎011-222-4894 年中無休 8 時～ 21 時

発行：札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課 ☎011-211-2964



さっぽろ市
02-D02-21-2329
R3-2-1469